

医療機能評価と変革するデイケア

札幌太田病院 山の手デイ・ナイトケア(第1デイナイトケア)

○工藤 秀子(看護師)、金谷沙奈美(精神保健福祉士)

「日本デイケア学会 第9回年次大会(2004年9月23日～25日、東京)」発表

山の手デイケア(第1デイケア)は医療法人耕仁会札幌太田病院(234床のうち、202床が精神科)内にある大規模デイケアである。昭和62年に、患者会・共同住居外来者作業・外来者手芸の会を統合する形で準備、発足され現在にいたっている。

当デイケアの概要 (平成16年3月)

利用者年齢(平均年齢)	20代～70代(53,9歳)
1日平均参加者	69,6人
共同住居・単身アパート生活者	77,1%
疾患	統合失調症 86,6%

プログラムについて

20代～30代	就労訓練や奉仕活動 疾患の学習会・集団療法 自己表現法・役割認識	ワープロ・SST・カラオケ 英会話・音楽療法・健康教育 社会奉仕活動など
40代～50代	趣味の拡大・仲間作り	陶芸・革細工・七宝焼・俳句・ 詩吟・剣舞詩舞・手芸
60代～70代	居場所の提供・生活能力や日常生活動作のレベルの維持・運動不足の解消	運動療法・ヨガ・買物 ゲートボール・フォークダンス など

利用メンバーは殆んど当院の退院者であり、多くの方がデイケアやナイトケア、作業所へ通所される。その中で当院では平成12年に病院医療機能評価を受審し合格している。今年は2回目を再受審するにあたり、リハビリテーション部門としてのデイケアのやるべき事、病院全体の中での取り組みについてまとめ、発表することにより、メンバーのためのデイケア機能について考えてみる事にする。

医療機能評価に伴い変革した項目

- ① 病院の理念と基本方針に沿ったデイケアの理念、基本方針を掲示した。
- ② 通所から退所までの流れを文書化した。
- ③ 多職種による症例検討会の実施
- ④ 必要な書類、マニュアルの作成
- ⑤ 全館敷地内禁煙に伴い受動喫煙の防止、タバコの害に対する健康教育、禁煙支援サポート体制を確立し禁煙を継続していく事を目的にデイケア内も禁煙とした。
- ⑥ ご意見箱の設置、満足度アンケートの実施
- ⑦ リハビリテーション部門との連携

この様にデイケアの機能、役割を明確にし、自分達の業務を客観的に評価することにより、他部門との連携や地域医療、保健、福祉の連携と協力がスムーズに行われることが、メンバーにとってケアマネジメントとなっていくのではないかと。第三者の評価を受けることはデイケアの新たな課題を生むと思うが、今は10月の受審にむけてデイケアの体制を整える努力をしている所である。